基本方針(テーマ) 2

快適な生活を支えるみちづくり(1)

渋滞を少なくし、快適・確実な交通を支援します



1 山形県の現状

県内の**通勤通学は、自動車への依存が非常に高い**状況であり、多くの箇所で渋滞が発生しています。
こうしたなか、県内では、特に**渋滞の激しい交差点として36箇所を指定**※1しています。
また、渋滞は、排出ガス（CO_2）の増加により地球環境の悪化を招くことになります。



▲通勤通学時の交通手段(H12)
国勢調査

指定用件			平成14年度	平成17年度末	地域別に見ると
主要渋滞ポイント（30箇所）	DID※2地区	渋滞長1km以上又は通過時間10分以上	11	8	山形14 新庄 0 米沢 5 庄内 5
	DID地区外	渋滞長500m以上又は通過時間5分以上	19	16	
その他渋滞ポイント（6箇所）	DID地区	渋滞長800m以上又は通過時間8分以上	1	1	山形 2 新庄 1 米沢 0 庄内 1
	DID地区外	渋滞長400m以上又は通過時間4分以上	5	3	

▲渋滞ポイント交差点箇所数

※1:平成14年度に関係機関の協議により指定された渋滞ポイント。
※2:人口5,000人以上を有し、人口密度が4,000人/km^2以上の地区。

事例

国道13号松山交差点(山形市)の立体化
走行速度向上でCO_2排出量を削減



資料：山形河川国道事務所調べ
※道路投資の評価に関する指針（案）に基づき試算

36箇所全ての渋滞を解消すると、年間25,000tCO_2削減！

平成18年度以降への反映

目標を達成できなかったことを反省し、効率的な渋滞対策を実施します

3 平成18年度の代表的な取り組み（業績計画書）

引き続き渋滞対策を推進し、**5箇所で渋滞の解消・緩和**を図ります。

渋滞ポイント対策箇所数

平成17年度 実績	平成18年度 目標
2箇所で緩和・解消	5箇所で対策を実施

取り組み 1 (県)山形山辺線　江俣交差点(山形市)

周辺都市計画道路の整備に合わせて交差点改良を行うことにより、将来的に予想される交通混雑の緩和に寄与します。



取り組み 2 国道13号糠野目交差点（高畠町）

交差点を南側へ移設し、移設した交差点に右折レーンを設置し、渋滞の緩和を図ります。


糠野目交差点付近

平成18年度代表的取り組み



❶ (県)山形山辺線江俣交差点
❷ 国道13号糠野目交差点
❸ 国道7号京田一丁目交差点
❹❺ 国道13号尾花沢新庄道路の開通（名木沢交差点と野黒沢交差点）

平成17年度を振り返って

一部の渋滞対策が遅れたため、目標達成に至りませんでした

2 平成17年度に実施した代表的な取り組み（達成度報告書）

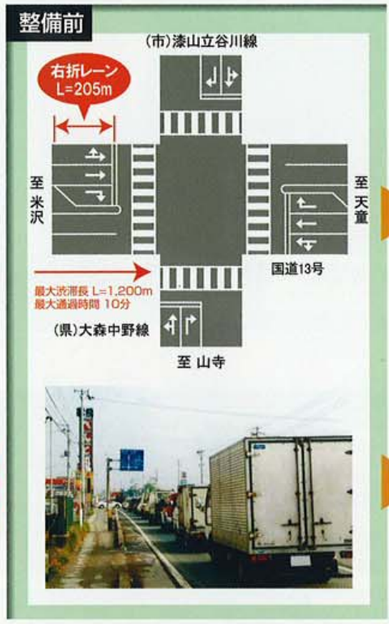
交差点改良による対策を進め、2箇所の渋滞ポイントで対策を行い、
そのうち1箇所で渋滞が解消、1箇所で渋滞が緩和しました。

渋滞ポイント対策箇所数 **目標未達成**

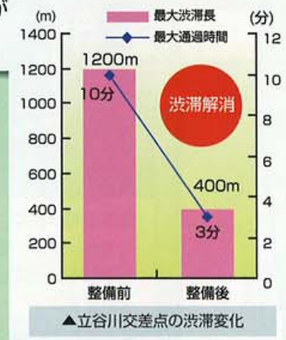
平成17年度 目標	平成17年度 実績
3箇所で対策を実施	2箇所で対策を実施

取り組み 1 国道13号立谷川交差点（山形市）

山寺方面へ向かう右折レーンの延伸（205⇒320m）により、直進車の流れがスムーズになりました。







▲立谷川交差点の渋滞変化

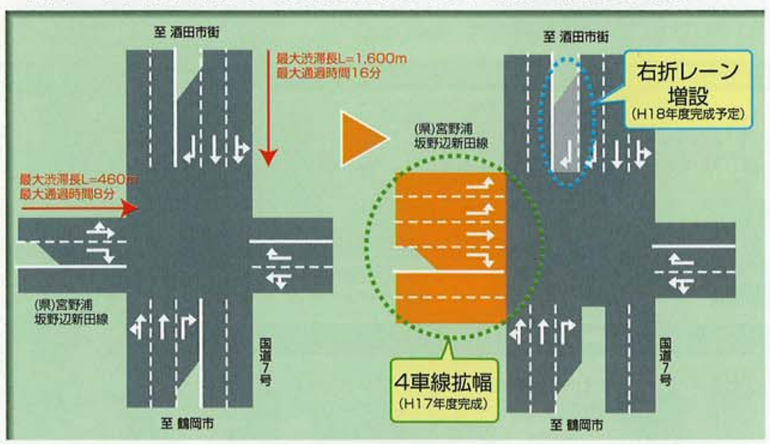
平成17年度実施箇所

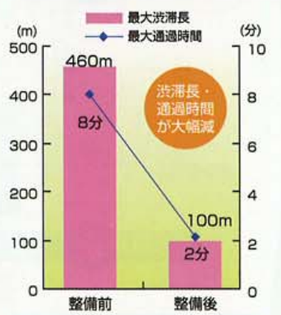


❶ 国道13号立谷川交差点
❷ 国道7号京田一丁目交差点

取り組み 2 国道7号　京田一丁目交差点（酒田市）

(県) 宮野浦坂野辺新田線の４車線化により、渋滞緩和が図られましたが、
国道７号の右折車両による渋滞が残存しており、対策を継続します。





▲京田一丁目交差点の渋滞変化（宮野浦坂野辺新田線）

取り組み 3 山形県CO_2削減アクションプログラムを策定

地球温暖化の原因となるCO_2の削減のために、特に渋滞が激しい21交差点を選定し、2012年までに対策を完了することを目標に掲げました。

※(県):主要地方道及び一般県道を示します